

Accuphase

STEREO PHONO AMPLIFIER

ステレオ・フォノ・アンプ

C-47

取扱説明書



ご使用前に、この「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お客様カードと引きか
えにお届けいたします「品質保証書」と一緒に大切に保管してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
 ございます。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、最終の出荷にいたるまで厳重なチェックを行い、その過程と結果の個々の履歴は、製品全体の品質保証に活かされています。このような品質管理から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。

末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

5年間の品質保証と保証書

本機の品質保証は5年間です。付属の「お客様カード(保証書発行はがき)」に必要事項を記入の上、必ず(なるべく10日以内に)ご返送ください。「お客様カード」と引きかえに「品質保証書」をお届けいたします。

- *「お客様カード」のご返送や「品質保証書」の発行について、詳しくは15ページをご参照ください。
- *「品質保証書」はサービスサポート時に必要となります。保証書がない場合は、全て有償修理となりますので、保証登録を行っていただき、届きました保証書を大切に保管してください。

製品に関するお問い合わせや異常が認められるときは、お求めの当社製品取扱店または当社品質保証部へ、直ちにご連絡ください。

尚、保証は日本国内のみ適用されます。

The Accuphase warranty is valid only in Japan.

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。



マークについて

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人身事故の発生する可能性や製品に重大な損害を生じる恐れがあることを示しています。お客様への危害や、機器の損害を防止するため、表示の意味をご理解いただき、本製品を安全に正しくご使用ください。



警告

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための事項が示してあります。



注意

この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が軽度の傷害を負う可能性や製品に損害を生じる恐れがあり、その危険を避ける為の事項が示してあります。

付属品をご確認ください

- 取扱説明書(本書) 1冊
- 安全上のご注意 1冊
- お客様情報の取扱いについて 1枚
- お客様カード(保証書発行はがき) 1枚
- 目隠しシール..... 1枚
- プラグ付きオーディオケーブル(1m)(ASL-10B) ... 1組
- AC電源コード(2m)(APL-1)..... 1本
- クリーニングクロス..... 1枚

著作権について

放送や録音物(CD、テープなど)から、あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外、権利者に無断で使用することはできません。音楽作品は著作権法により保護されています。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には、音量に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドフォンをご使用になったりするのも一つの方法です。

目次

付属品をご確認ください 表紙裏頁

1. 安全上必ずお守りください 2,3

⚠ 警告 2

⚠ 注意 3

快適にお使いいただくために 3

ご留意いただきたい事項 3

『モノラル・カートリッジ』接続時に異常音が発生した場合 3

お手入れ 3

2. 各部の名前 4

フロントパネル 4

リアパネル 4

3. 各部の動作説明 5~8**フロントパネル** 5,6

1 電源スイッチ 5

2 MC/MM スイッチ 5

3 GAIN ボタン 5

4 FILTER ボタン 5

5 LOAD IMPEDANCE スイッチ 6

6 ディスプレイ部 6

7 INPUT セレクター 6

リアパネル 7,8

8 フォノ・バランスMC入力端子 7

9 フォノ入力端子 7

10 ライン出力端子 7

11 バランス出力端子 7

12 極性切替スイッチ 8

13 AC電源コネクター 8

4. ご使用方法 9**5. 接続方法** 10**6. 保証特性** 11**7. 特性グラフ** 12**8. ブロック・ダイアグラム** 13**9. 故障かな?と思われるときは** 14**10. アフターサービスについて** 15各部の
名前各部の
動作説明ご使用
方法接続
方法保証
特性特性
グラフブロック・
ダイアグラム故障かな?と
思われるときはアフター
サービス
について

1. 安全上必ずお守りください

ご使用前にこの『取扱説明書』と別冊の『安全上のご注意』を良くお読みの上、製品を安全にお使いください。

警告

■電源は必ずAC(交流)100V、50Hz/60Hzを使用する。

- AC100V(50Hz/60Hz)以外で使用すると、感電や火災の原因となります。

■付属または当社指定の電源コード以外は絶対に使用しない。

- 感電や火災の原因となります。

■ぬれた手で電源プラグを絶対に触らない。

- 感電の原因となります。

■電源コードの上に重い物をのせたり、本機の下敷きにしたりしない。

- 電源コードは取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となり危険です。
- 電源コードが傷んだら、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

■放熱のため本機の周辺は他の機器や壁等から十分間隔(10cm以上)を空ける。

■機器の上に水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)、新聞紙、テーブルクロスなどを置かない。

■トップ・プレート(天板)やボトム・プレート(底板)は絶対に外さない。

- 内部に手などで触れると感電や故障の原因となり、大変危険です。

■火災又は感電を防止するために、屋外、雨がかかる場所及び湿気の多い場所では絶対に使用しない。

■脚の交換は危険なので行わない。

- 取り付けネジが内部の部品に触れると、火災や感電、故障の原因となります。

■次の場合には本体の電源スイッチを切り、必ず電源コードをコンセントから抜く。安全を確認後、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

- 製品に水や薬品などの液体がかかった場合。
- 内部に異物(燃えやすい物やヘアピン、釘、硬貨など)が入った場合。
- 故障や異常(発煙やにおいなど)と思われる場合。
- 落としたり、破損したりした場合。
- *上記の各項目に対して、電源スイッチをOFFにしただけでは、本機への電源供給が完全に遮断されません。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- *万一の場合、電源コードをコンセントから容易に外せるように、コードの引き回しやコンセント周りの環境を整えてください。

■入・出力端子や、AC電源コネクタ、電源プラグには接点復活剤や導電剤などは絶対に使用しない。

経年劣化による樹脂部の破損や、端子部のショートにより、感電や火災あるいは故障の原因になることがあります。
(接点復活剤、導電剤使用による不具合は保証外となります。)

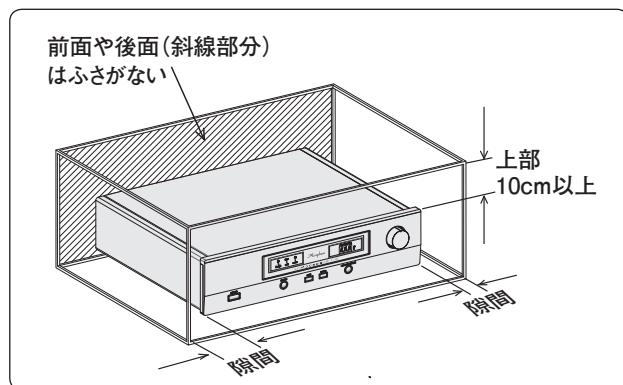
ラックに設置する場合

■密閉されたラックには設置しない。

■前面と後面がふさがれたラックには設置しない。

■製品の左右や上部に十分な隙間を確保する。

- 通風が確保されないと本機の温度が上り、火災や故障の原因となります。



注意

- 次のような場所へは設置しない。
故障の原因となります。
 - 通風が悪く、湿気やほこりの多い場所
 - 直射日光の当たる場所
 - 暖房器具の近くの場所
 - 極端に温度の低い場所
 - 振動や傾斜のある不安定な場所
- 他の機器に直接重ねて設置しない。
故障の原因となります。
- 長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
より安全にお使いいただけます。
- 本機と他の機器をケーブルで接続したり、切り離したりする時は、必ず各機器の電源を切る。
大きなショック・ノイズでスピーカーを破損するおそれがあります。
- ヘッドシェルやカートリッジをトーンアームに取り付けたり、取り外したりする時や、トーンアームを操作する時は、必ずプリアンプのボリュームを下げる。
大きなショック・ノイズでスピーカーを破損するおそれがあります。
- 室温35℃以下で使用する。
故障の原因となります。

快適にお使いいただくために

- XLRタイプとRCAタイプの出力端子を搭載しているアナログ・プレーヤーと本機を接続する場合、これら両方の端子と本機を同時に接続せず、どちらか一方の端子のみ接続してください。正常に動作しなくなります。
- 本機の出力を他の製品1台と接続する際、バランス・ケーブルとライン(アンバランス)ケーブルを同時に接続しないでください。
アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。
- 電源スイッチを切ってから10秒以内に再び入れないでください。
ノイズ発生などの原因となります。
- アナログ・プレーヤー、トーンアーム、カートリッジなどの取り付け、設置、接続や使用方法については、それぞれの製品の取扱説明書をご参照ください。
- 本機は微弱な信号を扱うため、パワーアンプなど大電力を扱う機器の近くに設置すると、電磁誘導によりハム音(ブーンという音)が発生する場合があります。このような場合には、ハム音がなくなるように、本機とこれらの機器の設置場所を調整してください。
- アナログ・プレーヤーの出力ケーブルとアース線は、束ねたり、燃り合わせたりして接続してください。
- 本機と他の機器の電源コードは、なるべく離してください。

ご留意いただきたい事項

- 各スイッチやボタンを操作すると、ノイズの発生を防止するためミュート回路が作動し、約1秒間音が途切れます。

『モノラル・カートリッジ』接続時に異常音が発生した場合

モノラル・カートリッジをご使用になる際は、カートリッジの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。もし、異常音(ハム音や発振音)が生じた場合には、以下の接続方法をお試しください。

(a) ヘッドシェルに取り付けるタイプのカートリッジの場合

カートリッジとシェルを、[白-青]または[赤-緑]のどちらか一組のリード線のみで接続します。

(b) ヘッドシェルと一体化したカートリッジの場合

本機の入力端子L/Rのどちらか一方のチャンネルにフォノ・ケーブルを接続します。

(a)(b)いずれの場合も、本機は一方のチャンネルのみ出力しますので、2本のスピーカーで再生する場合には、プリアンプやプリメイン・アンプを『MONO』設定に切り替えます。

ご不明な点につきましては、弊社品質保証部までお問い合わせください。

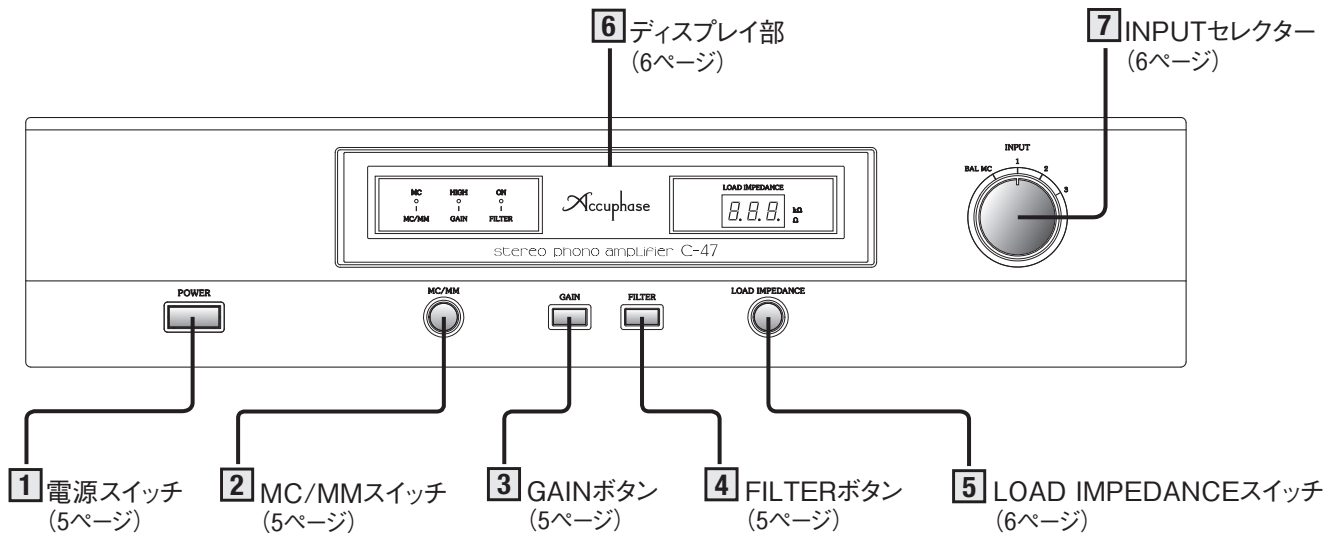
お手入れ

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 付属のクリーニング・クロスは傷のつきにくい素材でできています。サイド・ウッドパネルを含め本体に付着した埃や指紋等をふき取るのに最適です。
- クリーニング・クロスは、洗濯して繰り返し使用できます。洗剤で洗濯した後は、よく水洗いし乾いた状態でご使用ください。
- ベンジン、シンナー、油、ワックス等は表面を変色させたり、傷つけたりしますので使わないでください。

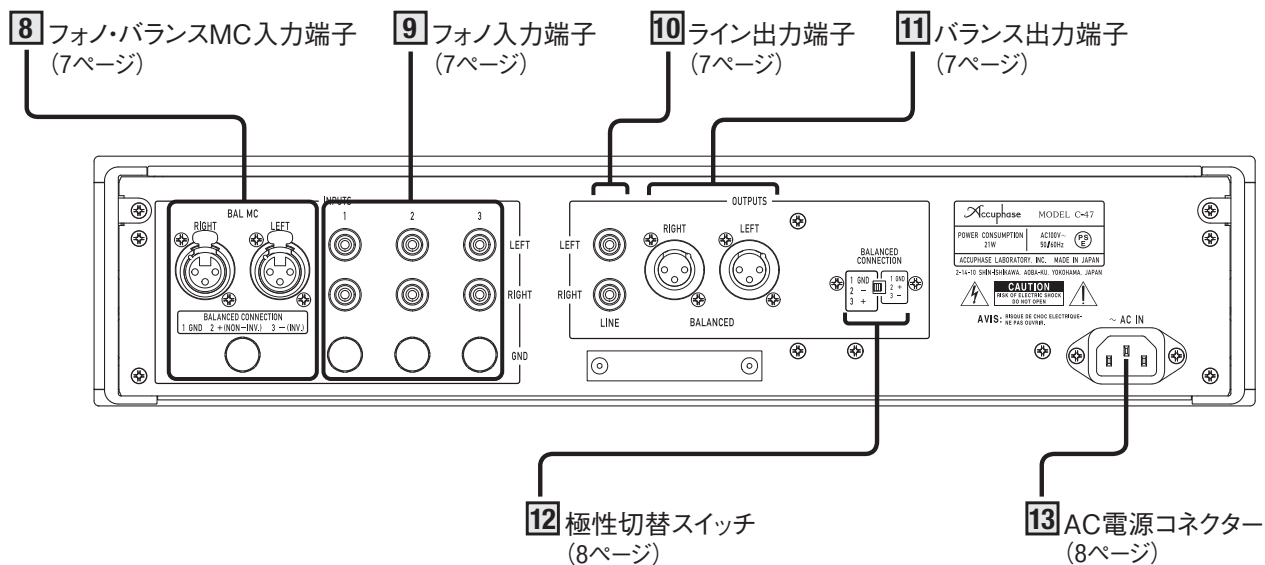
2. 各部の名前

詳しい説明は、各項目()内のページを参照してください。

フロントパネル



リアパネル



3. 各部の動作説明

フロントパネル

1 電源スイッチ



電源のONとOFFを切り替えるためのスイッチです。電源を入れてから回路が安定するまでの約3秒間は、ミュート回路が作動しますので出力はありません。

◆注意

電源を切って10秒以内に再び電源を入れない。ノイズ発生などの原因となることがあります。

メモ

電源を切っても、各機能の設定は、**[7]** INPUTセクターのポジションごとに記憶しています。

2 MC/MM スイッチ



カートリッジの種類を切り替えるためのスイッチです。

MC消灯：MMカートリッジ

MC点灯：MCカートリッジ(工場出荷状態)

メモ

この機能の設定は、**[7]** INPUTセクターのポジションごとに記憶しています。

[7] INPUTセクターで『BAL MC』を選択した場合には、MCに固定されMMには切り替わりません。

3 GAINボタン



ゲインを切り替えるためのボタンです。ハイ・ゲインにするとゲインが6dB増えます。

HIGH消灯：ノーマル・ゲイン(工場出荷状態)

HIGH点灯：ハイ・ゲイン

MC/MMスイッチ	ノーマル	ハイ
MC	64dB	70dB
MM	34dB	40dB

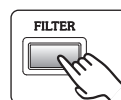
特に以下の場合、ハイ・ゲインが有効です。

- 出力電力が低いカートリッジを接続した場合
- 負荷インピーダンスを低く設定した場合
- 音量不足を感じる場合

メモ

この機能の設定は、**[7]** INPUTセクターのポジションごとに記憶しています。

4 FILTERボタン



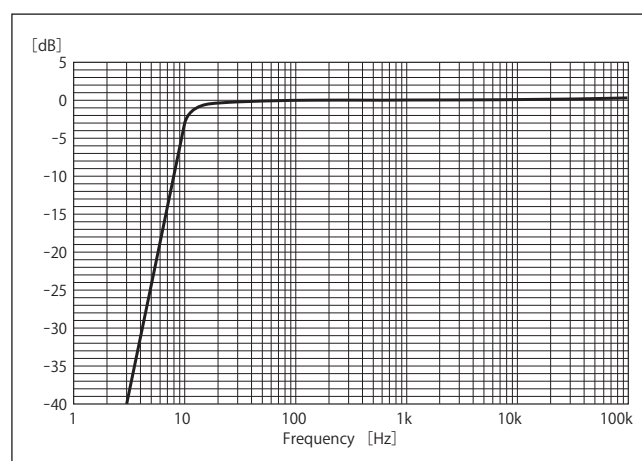
サブソニック・フィルターをON/OFFするためのボタンです。

ON消灯：サブソニック・フィルターOFF(工場出荷状態)

ON点灯：サブソニック・フィルターON

サブソニック・フィルターは可聴帯域外である10Hz以下の信号を12dB/octaveの急峻な特性でカットし、可聴帯域内へ超低域ノイズが及ぼす悪影響を防ぎます。特に以下の場合に有効です。

- レコードに大きな反りがある場合
- 超低域ノイズによりウーファーが大きく揺れる場合

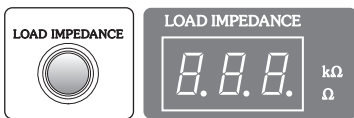


サブソニック・フィルター特性

メモ

この機能の設定は、**[7]** INPUTセクターのポジションごとに記憶しています。

5 LOAD IMPEDANCEスイッチ



負荷インピーダンスを切り替えるためのスイッチです。ディスプレイに選択した負荷インピーダンスを表示します。

2 MC/MMスイッチにより、選択できる負荷インピーダンスの切り替え範囲が変わります。

MC/MMスイッチ	選択可能な LOAD IMPEDANCE (Ω)
MC	10、30、100*、200、300、1k
MM	1k、47k*、100k

*：工場出荷位置

- カートリッジに推奨の負荷インピーダンスが指定されている場合には、その値に近いインピーダンスを選択し、その後、実際に試聴を繰り返しながら、好みの音質に近いインピーダンスに切り替えます。
- MCカートリッジの場合は、内部インピーダンスの2~3倍以上の値を目安にします。カートリッジに表示されている内部インピーダンス以下の値にすると、振動系がオーバーダンピング(過制動)になり、低域が不足し、中高域が細く硬質な音になる場合があります。
- MMカートリッジの場合は、一般的にハイインピーダンス負荷にします。

◆注意

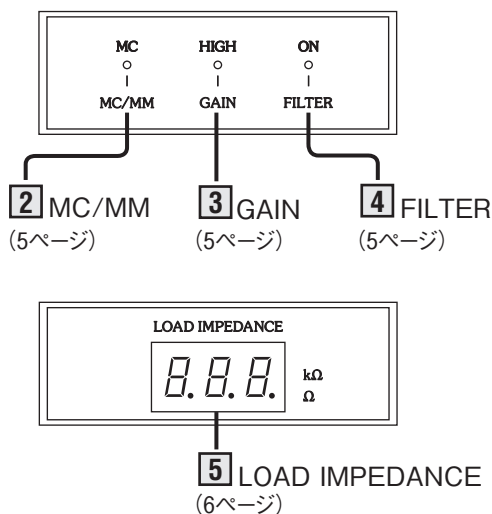
負荷インピーダンスを変えると、音量が急に大きくなる場合があります。

メモ

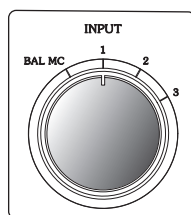
この機能の設定は、7 INPUTセクターのポジションごとに記憶しています。

6 ディスプレイ部

スイッチやボタンの設定をLEDの点灯/消灯で表示します。



7 INPUTセクター



入力端子を選択するためのセクターです。

INPUTセクター	入力端子
BAL MC	フォノ・バランスMC入力
1	フォノ入力1
2	フォノ入力2
3	フォノ入力3

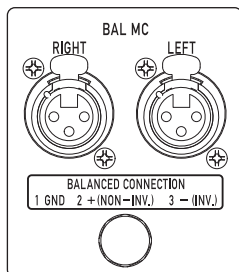
メモ

下記機能の設定は、7 INPUTセクターのポジションごとに記憶していますので、7 INPUTセクターを切り替えても、設定をやり直す必要はありません。

- 2 MC/MMスイッチ
- 3 GAINボタン
- 4 FILTERボタン
- 5 LOAD IMPEDANCEスイッチ

リアパネル

8 フォノ・バランスMC入力端子



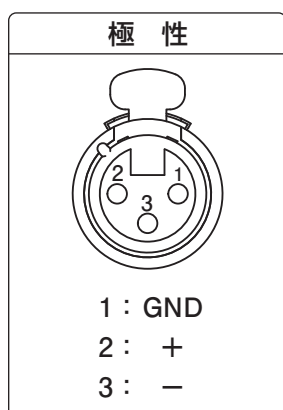
アナログ・プレーヤーと接続するための
フォノ・バランスMC入力端子です。

アナログ・プレーヤーのアース線を接続
するためのGND端子です。
感電防止のためのGND端子ではあり
ません。

◆注意

この入力端子はMCカートリッジ専用です。

MMカートリッジご使用時に、この入力端子を使ってバランス
接続すると、ハム音が発生しやすくなります。

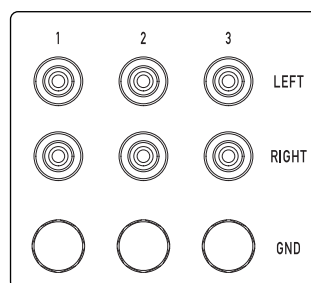


メモ

フォノ・バランスMC入力端子に接続する場合、ハム音が発生
しなければ、アース線をGND端子に接続する必要はありません。

*アナログ・プレーヤーとの接続図は10ページをご参照くだ
さい。

9 フォノ入力端子



アナログ・プレーヤーと接続する
ためのフォノ入力端子です。

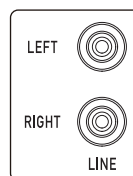
アナログ・プレーヤーのアース線を
接続するためのGND端子です。
感電防止のためのGND端子では
ありません。

メモ

フォノ入力端子に接続する場合、必ずアース線をGND端子
に接続してください。

*アナログ・プレーヤーとの接続図は10ページをご参照くだ
さい。

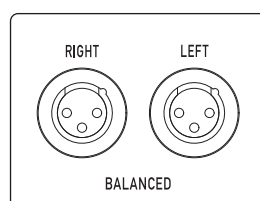
10 ライン出力端子



プリアンプやプリメイン・アンプと接続
するためのライン出力端子です。

*プリアンプやプリメイン・アンプとの接続図は10ページをご参
照ください。

11 バランス出力端子



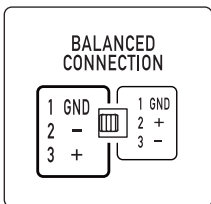
プリアンプやプリメイン・アンプと接続
するためのバランス出力端子です。

メモ

極性は、12極性切替スイッチで切り替えられます。
バランスケーブルは当社で販売しています。

*プリアンプやプリメイン・アンプとの接続図は10ページをご参
照ください。

12 極性切替スイッチ

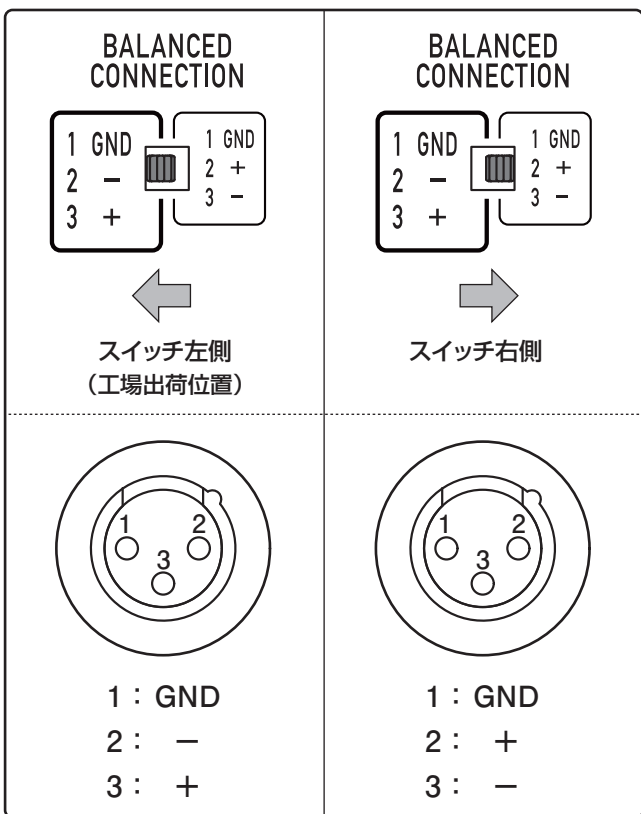


11 バランス出力端子の極性を切り替えるためのスイッチです。

当社製品(一部のプロ機器を除く)と接続する場合は、スイッチを左側(工場出荷位置)のままご使用ください。

接続する機器の極性が本機と異なる場合は、スイッチを右側にしてください。

ただし、極性は必ずしも合わせる必要はありません。合わせなくても演奏は可能です。



各部の動作説明

ご使用方法

13 AC電源コネクター

付属の電源コードを接続します。



電源は必ずAC100V家庭用コンセントを使用する。

■電源コードに付いているアース線の接続

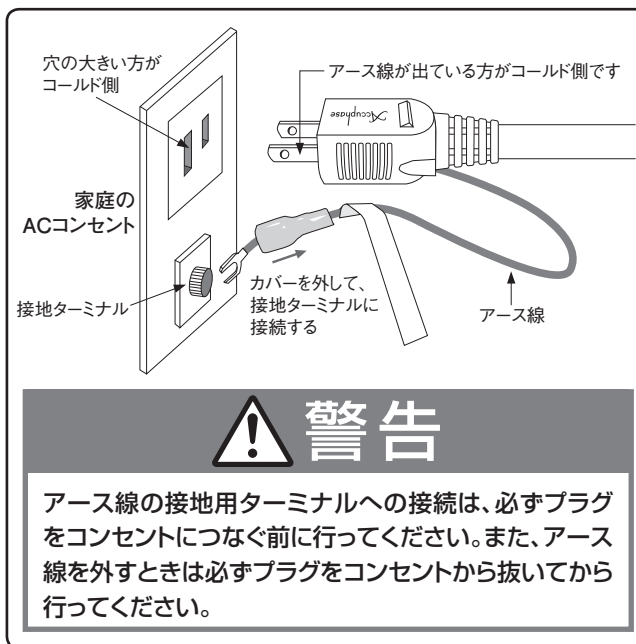
付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全になります。

接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。

■入・出力端子や、AC電源コネクター、電源プラグには接点復活剤や導電剤などは絶対に使用しない。

経年劣化による樹脂部の破損や、端子部のショートにより、感電や火災あるいは故障の原因になることがあります。

(接点復活剤、導電剤使用による不具合は保証外となります。)



アース線の接地用ターミナルへの接続は、必ずプラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外すときは必ずプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

■電源コードの極性表示

本機は、トランスの巻き方向、部品の配線など極性を管理して、電源プラグのアース線が出ている方がコールド側になっています。機器の接続を統一したい場合は参考にしてください。

◆注意

- 室内コンセントの極性は一般に、向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。
- 大地に対する電位は屋内配線の状況によって変化します。このためチェッカーなどを使用して測定した場合、電位が逆表示することがあります。

4. ご使用方法

準備

- ① プリアンプやプリメイン・アンプのボリュームを下げます。
- ② 本機や接続機器の電源スイッチをOFFにします。
- ③ アナログ・プレーヤーと本機を接続します。(10ページ)
- ④ 本機とプリアンプまたはプリメイン・アンプを接続します。(10ページ)
- ⑤ 本機や接続機器の電源スイッチをONにします。

操作

- ① 演奏するアナログ・プレーヤーを接続した入力端子を**7** INPUTセレクターで選択します。(6ページ)
- ② カートリッジの種類を**2** MC/MMスイッチで選択します。(5ページ)
- ③ 負荷インピーダンスを**5** LOAD IMPEDANCEスイッチで選択します。(6ページ)
- ④ プレーヤーでアナログ・ディスクを演奏します。

アナログ・プレーヤーの演奏方法につきましては、アナログ・プレーヤーの取扱説明書をご参照ください。

メモ

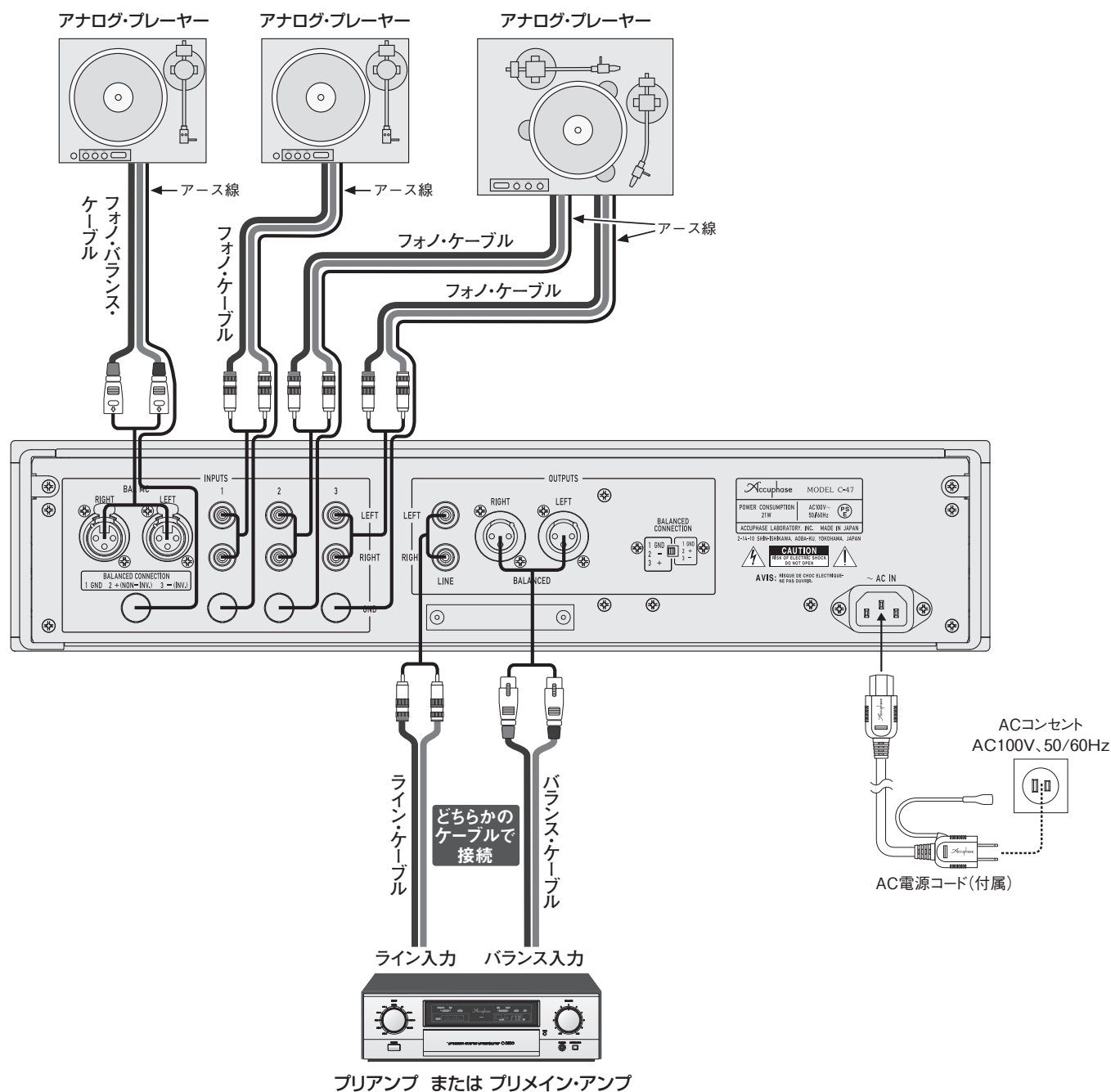
- **5** LOAD IMPEDANCEスイッチで、お好みの音になるように負荷インピーダンスを変更します。(6ページ)
負荷インピーダンスを変えると、音量が急に大きくなる場合がありますのでご注意ください。
- プリアンプやプリメイン・アンプのボリュームを上げても音量が足りないと感じる場合には、**3** GAINボタンでゲインを6dB上げることが可能です。(5ページ)
- 反りのあるアナログ・ディスクを再生すると、低音のノイズが発生する場合があります。その時は、**4** FILTERボタンをONにすると、ノイズを低減することができます。(5ページ)

5. 接続方法

⚠注意：接続するときは、必ず各機器の電源を切る。

- ◆注意
- フォノ入力端子に接続する場合、必ずアース線をGND端子に接続してください。
 - フォノ・バランスMC入力端子に接続する場合、ハム音が発生しなければ、アース線をGND端子に接続する必要はありません。
 - XLRタイプとRCAタイプの出力端子を搭載しているアナログ・プレーヤーと本機を接続する場合、これら両方の端子と本機を同時に接続せず、どちらか一方の端子のみ接続してください。正常に動作しなくなります。
 - 同一機器同士ではバランス・ケーブルとライン・ケーブルを同時に接続しないでください。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。
 - プリアンプやプリメイン・アンプと接続するバランス・ケーブルやライン・ケーブルは、シールド・ケーブルをご使用ください。

アナログ・ディスク演奏方法は9ページをご参照ください。



6. 保証特性

[保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

RIAA偏差

MC	10 ~ 20,000Hz	±0.3dB
MM	10 ~ 20,000Hz	±0.3dB

全高調波ひずみ率 (1kHz、定格出力時)

0.005%

ゲイン

GAINボタンOFF(ノーマル)	MC時	: 64dB
	MM時	: 34dB
GAINボタンHIGH	MC時	: 70dB
	MM時	: 40dB

入力感度 (1kHz、定格出力時)

MC	64dB時	1.26mV
	70dB時	0.63mV
MM	34dB時	40mV
	40dB時	20mV

最大入力電圧 (1kHz、ひずみ率0.005%)

MC	64dB時	5.7mV
	70dB時	2.9mV
MM	34dB時	180mV
	40dB時	90mV

最大出力レベル (ひずみ率 0.01% 20~20,000Hz)

BALANCED/LINE OUTPUT : 8.0V

入カインピーダンス

MC	10Ω, 30Ω, 100Ω, 200Ω, 300Ω, 1kΩ
MM	1kΩ, 47kΩ, 100kΩ

定格出力・出カインピーダンス

BALANCED OUTPUT	2V	50Ω
LINE OUTPUT	2V	50Ω

S/N・入力換算雑音

入力端子	入力ショート(A-補正)	
	定格出力時S/N	入力換算雑音
MC : 64dB	97dB	-155dBV
MC : 70dB	91dB	-155dBV
MM : 34dB	108dB	-136dBV
MM : 40dB	102dB	-136dBV

最小負荷インピーダンス

BALANCED/LINE OUTPUT : 10kΩ

クロストーク

-90dB以下(10kHz)

残留ノイズ(A-補正、入力ショート)

GAINボタンOFF(ノーマル)	MC時	: 28.2μV以下
	MM時	: 7.9μV以下
GAINボタンHIGH	MC時	: 56.2μV以下
	MM時	: 15.8μV以下

サブソニック・フィルター

-12dB/octave, 10Hz

電源

AC100V 50/60Hz

消費電力

21W

最大外形寸法

幅465mm × 高さ114mm × 奥行407mm

質量

14.8kg

●本機は「JIS C-61000-3-2 適合品」です。

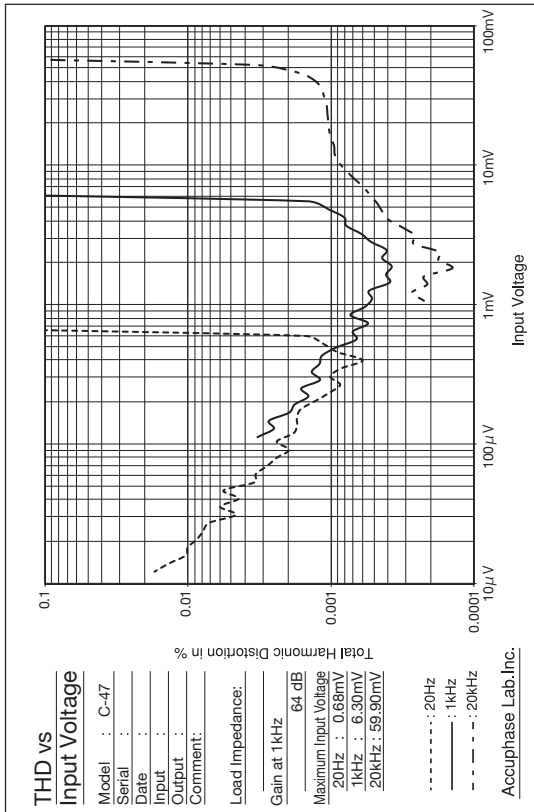
JIS C-61000-3-2 適合品とは、日本産業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値(1相あたりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

*本機の仕様・特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

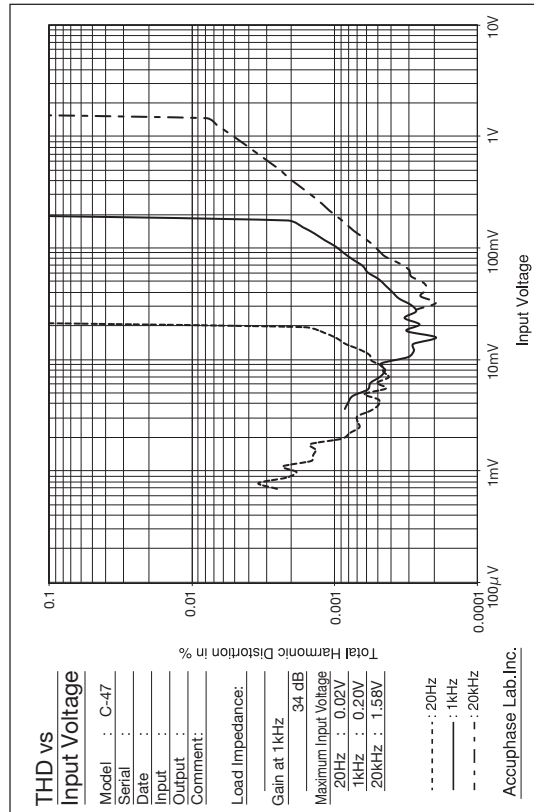
7. 特性グラフ

特性グラフ

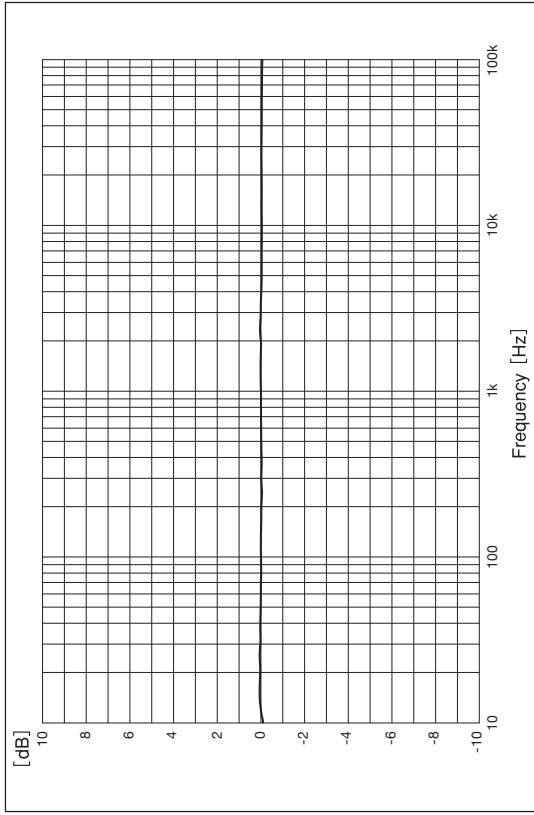
ブロック・
ダイアグラム



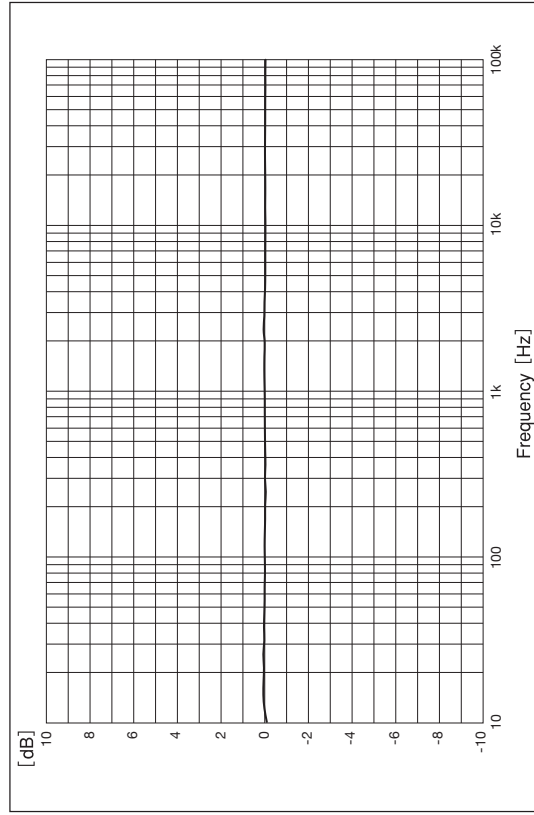
入力電圧 / 全高調波ひずみ率特性 : MC 入力



入力電圧 / 全高調波ひずみ率特性 : MM 入力



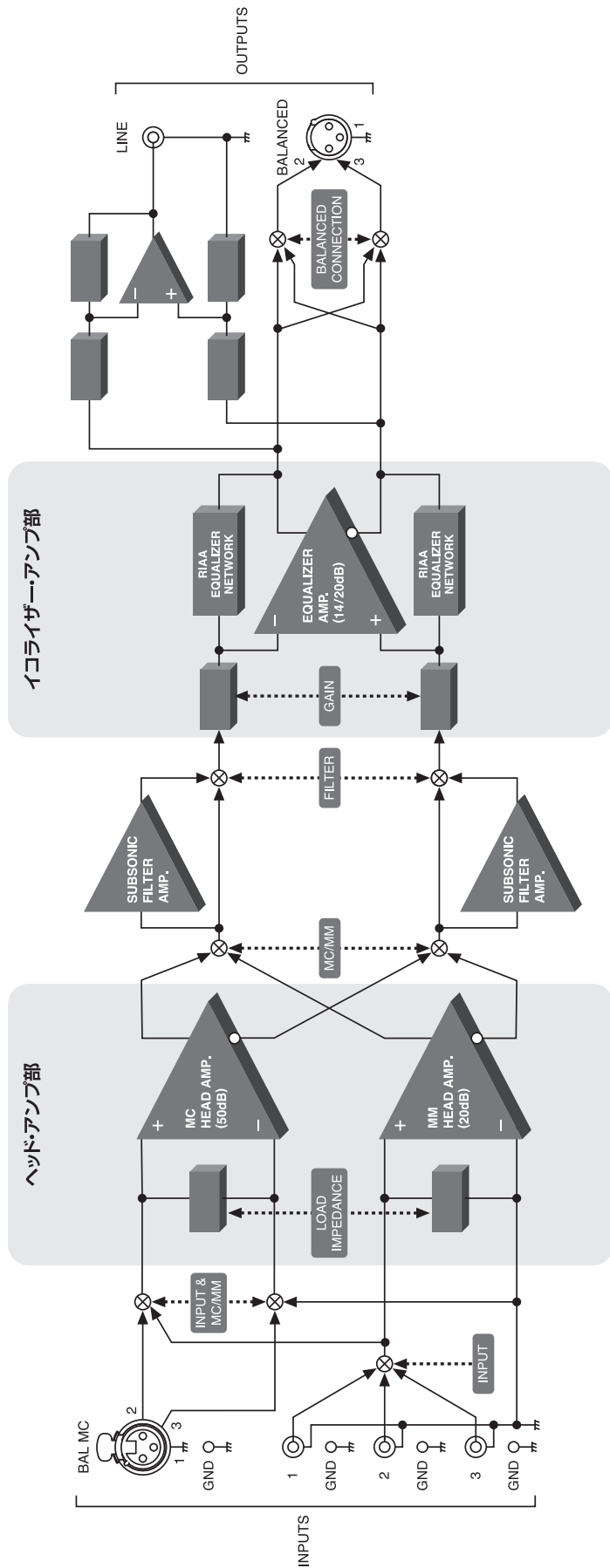
RIAA 偏差 : MC 入力



RIAA 偏差 : MM 入力

8. ブロック・ダイアグラム

片チャンネル



特性グラフ
ブロック・ダイアグラム

9. 故障かな?と思われるときは

故障かな?と思われるときは、修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。

これらの処置をしても直らない場合には、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。



注意：接続を変えるときは、必ず各機器の電源スイッチを切る。

現象	原因等	対処方法
電源が入らない。	電源コードが抜けている。	本体側とコンセント側の挿入箇所を確認します。
	電源コードが傷んでいる。	危険ですので傷んでいる電源コードは使用せず、当社製品取扱店または当社品質保証部へご連絡ください。
両方のスピーカーから音が出ない。	本機や接続機器の電源が入っていない。	接続機器全ての電源を確認します。
	選択している入力端子が異なる。	7 INPUTセレクターのポジションを確認します。
両方または片方のスピーカーから音がでない。	接続が正しくない。	全ての機器が正しく接続されているか確認します。
	全ての機器から信号が出力されていない。	全ての機器が信号を出力する状態であるか確認します。
片方のスピーカーから音が出ない。	上記「両方または片方のスピーカーから音が出ない。」の原因に該当しない場合。	下記「片方のスピーカーから音が出ない場合に原因を探す方法」をお試しください。
ハム音が出る。	アナログ・プレーヤーのアース線は、接続した方が良い場合と悪い場合がある。	アース線の接続の有/無を聞き比べて、ノイズの少ない方をお選びください。
	電磁誘導の影響を受けている。	フォノ・ケーブルとアース線は束ねたり、撚り合わせたりして接続する。
		フォノ・ケーブルとアース線は電源コードや電源コンセントなどのAC電源から距離を保つ。
		パワーアンプなど大電力を扱う機器の近くに本機を設置しない。

片方のスピーカーから音が出ない場合に原因を探す方法

注意：接続を切り替える時は、必ず各機器の電源を切る

手順	方法	結果	原因
1	プリアンプとパワーアンプの接続ケーブルを以下のように入れ替えます。 <ul style="list-style-type: none"> ● プリアンプの左チャンネル → パワーアンプの右チャンネル ● プリアンプの右チャンネル → パワーアンプの左チャンネル 	同じスピーカーから音がでない。	パワーアンプやスピーカー・ケーブルの接続やスピーカーに問題があると考えられます。
		違うスピーカーから音がでない。	アナログ・プレーヤーまたは本機またはプリアンプに問題があると考えられます。さらに手順2を行います。
2	本機とプリアンプの接続ケーブルを以下のように入れ替えます。 <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の左チャンネル → プリアンプの右チャンネル ● 本機の右チャンネル → プリアンプの左チャンネル 	同じスピーカーから音がでない。	プリアンプに問題があると考えられます。
		違うスピーカーから音がでない。	アナログ・プレーヤーまたは本機に問題があると考えられます。さらに手順3を行います。
3	アナログ・プレーヤーと本機の接続ケーブルを以下のように入れ替えます。 <ul style="list-style-type: none"> ● アナログ・プレーヤーの左チャンネル → 本機の右チャンネル ● アナログ・プレーヤーの右チャンネル → 本機の左チャンネル 	同じスピーカーから音がでない。	本機に問題があると考えられます。
		違うスピーカーから音がでない。	アナログ・プレーヤーに問題があると考えられます。

10. アフターサービスについて

保証書について

- 保証書は本体付属の『お客様カード(保証書発行はがき)』の登録でお送りいたしますので、「お客様カード」を**当社品質保証部に必ずご返送ください。**
- 『お客様カード』の『お客様情報欄』には付属の『目隠しシール』を貼ってご返送ください。
- 保証書の記載内容により、**本機の保証期間はご購入日から5年間です。**
- 『品質保証書』の無い場合は、**全て有償修理となります**ので、『お客様カード』は必ずご返送ください。
- 『お客様カード』をご返送いただく時、ご購入日等を記入して頂きますが、下記の場合には『品質保証書』の発行ができないことがあります。
 - *ご記入頂いた購入日と弊社からの製品出荷日とが大きく異なる場合。
 - *『お客様カード』が返送されないまま、転売(インターネット等)された場合。
 - *長期間『お客様カード』の返送がない場合。
- オプション類には『お客様カード』を付属していませんが、製品出荷日をご購入日として弊社が登録し、『5年間保証』とさせていただきます。

保証期間が過ぎてしまったら

- 修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。
- 補修部品の保有期間は経済産業省指導により、製造終了後8年間となっています。使用期間が相当経過している場合には、当社品質保証部にお問い合わせください。

注意 保証期間以降、長年に渡って安全にご使用いただくために、当社での定期的な点検を行ってください。内容については当社品質保証部にご相談ください。

その他

- 本機は絶対に分解や改造をしないでください。修理ができない場合があります。
- 本機の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については補償できません。
- AC100V以外(海外)では使用できません。
- 保証は日本国内のみ適用されます。
The Accuphase warranty is valid only in Japan.

お問い合わせは

- ご質問、ご相談、当社製品取扱店のご案内などは、下記の当社品質保証部へお願いします。

アキュフェーズ株式会社 品質保証部
〒225-8508 横浜市青葉区新石川12-14-10
TEL 045(901)2771(代表)
FAX 045(901)8995

- 修理のご相談は、お買い求めの当社製品取扱店へお願いします。
- 当社のホームページ上でも修理のお問い合わせが可能です。
<https://www.accuphase.co.jp/>

修理を依頼する場合には

- “故障かな?と思われるときは”をご確認後、直らない場合には、電源プラグをコンセントから抜き、当社製品取扱店に修理を依頼してください。

次の内容をお知らせください。(保証書参照)

- モデル名、シリアル番号
- ご購入日、ご購入店
- ご住所、氏名、電話番号
- 故障状況：できるだけ詳しく

* 梱包材は、輸送時に必要となりますので、可能であれば保管しておいてください。

enrich life through technology



ACCUPHASE LABORATORY, INC.

アキュフェーズ株式会社

〒225-8508 横浜市青葉区新石川2-14-10

TEL.045-901-2771(代) FAX.045-901-8959

<https://www.accuphase.co.jp/>